

おとずれ

2022年 4月476号

(発行者) 富士吉田カトリック教会

(住所) 〒403-0005

山梨県富士吉田市上吉田 3-5-7

(TEL&FAX) 0555-22-3199

ホームページ <http://www.fgo.jp/~catholic/>

哀しみの夜を超えて

主任司祭 千葉俊一神父

新型コロナウイルスに一昨年来苦しみ続けているわたしたち地球人に、それでもまだ足りないとはばかりに、ロシアによるウクライナへの軍事侵略という痛みが負わされました。正直のところ、世界を導く主なる神の聖心がわかりません。地球人にはまだまだ回心が足りないということなののでしょうか。きっとそうなのでしょう。開発・生産性向上・物流増大という近代以来の路線がコロナウイルスをもたらしたのですが、対話と協調・人権の尊重という第二次大戦以後の国際社会の基本があっけなく反故にされてしまいました。この点ではしかしロシアだけが該当するわけではありません。

人間に「進歩」などあるのでしょうか。わたしたちはどうすればよいのでしょうか。ギリシャ神話のシジフォスは神々を欺いた罰として地獄で巨大な岩を山頂まで運ぶ刑に処せられました。山頂まで今少しのところでは必ず谷底に転がり落ち、シジフォスはまた初めからやり直さなければなりません。このエピソードは徒労の代名詞となっています。わたしたちはこの世界の福音化に向けて、シジフォスのように何度でも最初からやり直すしかありません。そしてそれを徒労とは思いません。壊されてしまった「人間性」への信頼を紡ぎ直し、自分たちの内なる所有・支配への欲望をコントロールし、他者への根拠なき恐怖を乗り越えることが、地球のより良い未来への道です。それは主なる神の創造のわざに参加することです。

哀しみの夜を超えて、痛みが残るといえども歓びの朝を全ての人が一ロシアの人々も一迎えることができるよう神の母マリアのとりなしを求めます。

「あなたは決して一人ではない。心で繋がっている」

マリア・テレジア 山本 美和

2011年3月11日東日本大震災から11年。復興が進む場所もありますが、今だにあの日のままの場所もある福島。その南相馬で2013年から「この小さき人のためにしたことは、私にしたことである」という言葉を胸に、支援活動が続けている南原さんのお話しを、聴かせていただきました。

あの日、地震と津波が発生し、その後に原発事故がおこり、人々は何が起きているのか分からないまま必死に避難。ふと周りを見渡した時、家族はバラバラに。そして、仮設住宅から復興住宅へ移動することによって、さらに孤独がすすむことになってしまった。

11年経過しても福島では他県にくらべて自死を含む震災関連死が増えているのが現状で、長期間の避難生活での持病の悪化や先の見えない将来に対する不安、避難解除に伴う補償金打ち切りでの経済的困窮などが原因。また、11年が経過し、若い世代の方は避難先での生活が安定し、帰還した住民は高齢な方ばかりなため、自死や孤独死は減らず、個別訪問の支援が続けているとのお話がありました。

改めて、今福島から離れて暮らす私たちが東日本大震災で被害に遭われた方々へどのような支援があるのか考えさせられました。そして、コロナが落ち着き可能ならまた南相馬の地に立ち現状を忘れず、心の目で見て学びたいと感じました。

停止している原発であっても、冷却できなければ同じような事故は起こりうることを、皆さんはご存知ですか。今、ロシアがウクライナに侵攻し原発を占領し、どうなっているのか？考えるだけでも恐ろしくなります。

原町教会はファチマの聖母に捧げられた教会です。今のロシアの侵攻が終わりますよう、災害に遭われた皆さん、亡くなられた方がたにファチマの祈りを捧げたいと思います。



教会委員会記録

3月6日 16名参加

1. 3月～4月の典礼について・・・4月は「こよみ」ページ参照
2. 3月13日 日曜学校卒業式 終了後 11:30～リーダー会議（来年度について）
3. 新型コロナ感染症対策におけるミサについては、中止をする場合は連絡網を回している。
体力に自信のない方、具合の悪い方、高齢の方などは自己責任でよろしくお願いいたします。
4. 【2021年度 会計報告】
信徒数323名（洗礼3名、逝去3名、転入1名、転出4名）
信徒の皆様のご協力で月定献金は予算比108%、修繕積立金は予算の98%となったがミサ献金に関してはミサの中止等のため大幅に少なく、予算比42%でした。ミサ献金に関しては、この2年間の減少をふまえて来年2022年度の予算を組むこととする（詳細に関しては「教会委員会議事録」ファイルにファイリングしてあります）
5. 【共同宣教司牧委員会の報告】
年4回の委員会は甲府教会で行う。
今年度2022年は山本一孝さんが委員会の会長を続投する為、志村好直委員長はオブザーバーとして参加する事となった。再来年は富士吉田教会が書記になる事になっている（大野隆さんが手伝って下さる予定）白木神父様（松本教会へ異動）芹沢神父様（藤沢教会から）宣教司牧委員会の評議委員
6. シノドスアンケート（回収箱を聖堂に置く）3月27日締め切り
7. 【2022年度4月1日からの教会体制の変更について】
教会委員長：志村好直
教会副委員長：山本一孝（山梨地区共同宣教司牧会長）・新井静香
3部門：自ら祈る力を育てる部門
自ら信仰を伝える力を育てる部門 大野隆
自ら神の愛を証しする力を育てる部門 葉山恵
広報委員（おとずれ）責任者 志村好直・新井静香・大野知美・隆・江守香代子
宮本禮子・小松二三子・井上和也・山本一孝*小山田匡宏（ホームページ）
香部屋係：江守香代子・宮本禮子・小松二三子・角幸子・東海林義夫・美佐子
8. 【その他】 3月13日（日曜日）からウクライナの為の募金箱を置く。何処へ贈るかはこれから相談して決める（カリタスジャパン？ウクライナ大使館へ直接？難民支援？）
9. 幼稚園の園庭には車を停めない事になったので園庭の門を開けないでください。
（車の重さで砂を固めると園庭の水はけが悪くなるので…現在も水はけが悪い状態です）
幼稚園駐車場をご利用ください。
10. 南相馬市の賛助会員を募集しています。年会費5000円です。皆様よろしくお願い致します。
11. ダルクの集会室使用は3月から再開します。

教会記録

◎異動 4月1日 日曜学校では大変お世話になりました。

- ・シスター望月久枝 サレジオンシスターズ 東京・赤羽扶助者聖マリア修道院へ
- ・シスター松本静子 サレジオンシスターズ 東京・目黒修道院へ

こ よ み

4月

3日(日) 四旬節第5主日 ミサ9:30 教会委員会

(聖堂清掃は河口湖・都留地区)

10日(日) 受難の主日(枝の主日) ミサ9:30 聖週間

日曜学校始業式(聖堂清掃は日曜学校・吉田地区)

14日(木) 聖木曜日(主の晩餐) ミサ18:00

15日(金) 聖金曜日(主の受難) 大斎・小斎 みことばの典礼18:00

16日(土) 聖土曜日(復活徹夜祭) ミサ18:00

17日(日) 復活の主日 ミサ9:30 (聖堂清掃はインターナショナル・山中・忍野地区)

24日(日) 復活節第2主日(神のいつくしみの主日) ミサ9:30

日曜学校 (聖堂掃除は吉田地区)

※四旬節中、ミサの前に十字架の道行きを9:00より行います。

イタリア語教室(月曜10時) 4月4日・11日・18日・25日

日曜学校(ミサ後): 10日・24日

5月

1日(日) 復活節第3主日 ミサ9:30 教会委員会

8日(日) 復活節第4主日(世界召命祈願の日) ミサ9:30

15日(日) 復活節第5主日 ミサ9:30

22日(日) 復活節第6主日(世界広報の日・献金) ミサ9:30

29日(日) 主の昇天 ミサ9:30

新型コロナウイルス感染拡大の状況で、変更の可能性があります。

変更の際は、「教会の連絡網」での連絡及びホームページに掲載いたします



4月のミサ奉仕

日	先唱	聖体奉仕者	侍者	第1朗読	第2朗読	検温
3	江守香代子	-	-	福永好雄	宮本禮子	角
10	大野 隆	-	-	小山田匡宏	曾根美香	江守
17	山本一孝	-	-	宮本二郎	相澤千代子	宮本
24	東海林義夫	-	-	渡辺幹雄	江守香代子	志村